

40 YEARS
ANNÉES
AÑOS
LoLo



IFADとは？

国際農業開発基金 (IFAD) は、開発途上国のへき地や、様々な援助団体や国際開発金融機関 (IFI) の手がほとんど届かない脆弱な状況での、貧困と飢餓が最も深刻なところでその任務を遂行しています。

IFADはへき地での農業と開発への公的、民間投資を増大するための触媒的な働きをします。

私たちの仕事は貧困と飢餓を減らし、へき地に住む人々をより強くします。

IFADは食品と栄養の安全での多国間投資機関として世界第2の規模を持ち、アフリカの農業に関わる機関としては最大級のものです。

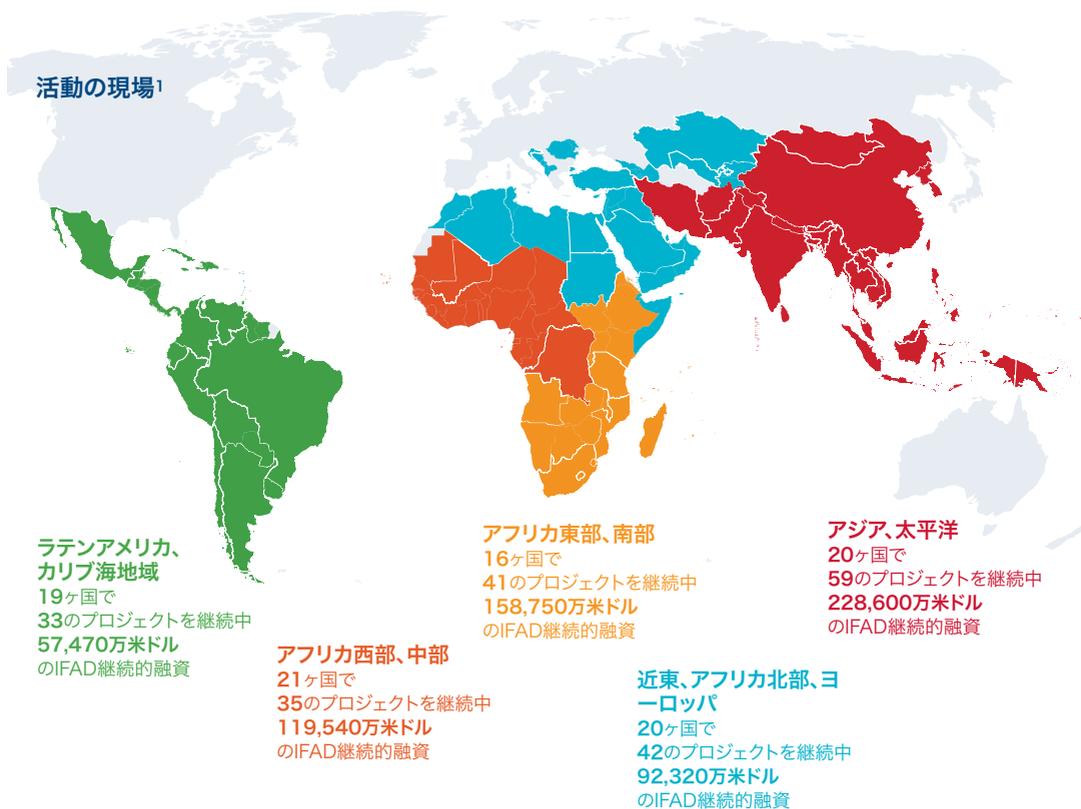
IFADはへき地の住民をその活動と投資の中心に据え、計画策定と実施に住民を巻き込みます。

IFADのモデル

IFADは低金利貸付金と補助金を開発途上国に提供します。また、加盟国、開発途上国、プロジェクト参加者自身との協調融資も行います。

現在までのところ、貸付金と補助金として197億米ドル、さらに協調融資と国内資金として271億米ドルの支援を行ってきました。

2017年には承認資金の約半分がアフリカに、35%が脆弱な状況に置かれた国に向けられました。



¹ 2017年12月31日現在

調査によると、IFADの投資は貧困を5.6~9.9%削減しました(現金送金プログラムでは3~7%)。

結果達成方法

農業とへき地コミュニティの変革

約25億人が小さな農地に依存しています。IFADの支援するプロジェクトは小規模な生産者を市場とサービスに結びつけ、これらが共に成長し、収入を増やせるようにします。

2017年に報告された結果は主に次の通りです:

250万人が穀物生産実習と技術を習得

300万ヘクタールの共用地、共用資源の管理を改善

14,000キロメートルの道路を建設または修理

91,000件の小規模企業が事業促進サービスへのアクセスを取得

190万人がコミュニティ管理のトレーニングを受講

50%のIFAD支援事業享受者は女性

気候と環境

小規模農家とその他のへき地の人々は気候変動の矢面に立たされています。海面上昇と、激しさを増す干ばつ、嵐、洪水は、農民の頼りとするエコシステムに圧力をかけています。IFADでは環境的に持続可能な食物生産を促進しています。私たちはポートフォリオ全体に渡って気候と環境を維持しています。IFADは小規模農業適合プログラム(Adaptation for Smallholder Agriculture Programme, ASAP)を設立し、小規模農業適合リソースの世界最大のルートです。

融資と市場

成長と回復には金融サービスが欠かせません。しかしこれらのサービスは世界で最も貧しい人々の暮らすへき地に行き渡ることはめったにありません。

IFADは包括的へき地金融サービス、革新的技術へのアクセス、保険、市場を支援する最大級の融資団体です。

2017年に報告された結果は主に次の通りです:

1610万人の自発的預金者; 内女性61%

770万人のアクティブな融資受取人がIFAD支援の小規模金融組織から融資を受け、内女性65%

IFADのポートフォリオの13%はへき地での融資に特化

女性と栄養

女性はへき地での農業と経済に大きな貢献をしていますが、へき地の社会で最も隅に追いやられた存在でもあります。女性は資産に直接アクセスできず、家庭、組織、コミュニティでの権限が無いことがままあります。私たちはへき地に住む女性が男性と平等の権利を得、女性自身の生活と資産に対する決定権を向上するよう支援しています。

女性に力を与えることは子供達への慢性的な栄養不足改善にも役立ちます。女性は男性に比べてその収入を子供達と分かち合うことが多くあります。IFADは教育と栄養に気を遣った農業を推進して、へき地の貧しい人々の食生活と栄養状況を改善する努力を加速しています。

若者への働きかけ

世界には12億人の若者がいます。

多くはへき地に住んでいます。彼らは大人に比べて2、3倍失業している可能性が高く、貧しいことが多くなっています。へき地では十分な雇用の機会が若者に与えられ、若者が仕事を求めて移住をやむなくされることの無いようにする必要があります。

IFADは参加的なアプローチを取り、各国で豊富な経験がありますので、特にへき地や微妙な状況で弱い立場にいる人々と共に働くことに関して他の組織よりもメリットがあります。

機構の構築

私たちは国、地方での機構的力を強化して開発プロジェクトの策定、施行、その影響を改善しています。IFADまたは各地でその存在感を向上して、より大きな結果をもたらすようにパートナーシップを強化しています。

私たちが融資するプロジェクトは国家政策を強化、増幅します。金融、農業管轄の省庁との緊密な協働を通して、省庁の支援が小規模農家に届き、公的出費が最貧の人々に達するようにしています。

独自の使命

IFADは国際社会で投資を小規模農家に行き渡らせ、へき地の開発に融資を行う最も直接的な経路です。

IFADは1977年に設立され、石油輸出国機構 (OPEC)、経済協力開発機構 (OECD) 加盟国と、その他の開発途上国で形成される革新的なパートナーシップです。今日では、176ヶ国がIFAD加盟国となっています。

私たちはパートナーシップを通して、へき地開発への投資活性化を推進し、開発とへき地の貧しい人々自身の多様な関係者間での互恵的な関係を育みます。他の国連機関、特にローマの国連の食品、農業拠点に所在するものと緊密に協働しています。また民間セクター、農業研究所、NGO、市民団体など、中でも小規模農家とへき地の人々を代表するものと提携関係を結んでいます。

IFADは小規模農家とへき地の起業家の視点を、国際的な政策審議にもたらしめます。私たちはまたこれら小規模農家とへき地の起業家を助け、政策決定過程に参加し、影響を与える能力を涵養するようにしています。



国際農業開発基金

Via Paolo di Dono, 44 - 00142 Rome, Italy

電話 : +39 06 54591 - ファックス : +39 06 5043463

電子メール : ifad@ifad.org

www.ifad.org

 ifad-un.blogspot.com

 www.facebook.com/ifad

 [instagram.com/ifadnews](https://www.instagram.com/ifadnews)

 www.twitter.com/ifadnews

 www.youtube.com/user/ifadTV

2018年3月